

平成28年度 産業経済部長「政策宣言」達成状況

産業経済部長 稲垣和成

○ 平成28年度重要事業

事業名	企業の誘致
目 標	コールセンターや大型商業施設の開設・開業は、地域経済の活性化とともに本市の魅力度の向上につながりました。引き続き企業の積極的な誘致活動に努めるとともに、新たな企業団地の開発について検討（適地調査等）を行います。
年度末達成状況	小杉インターパークに大型物流施設の立地が決まりました。また、市内企業団地の入居の現状を踏まえ、新たな企業団地の開発に向けて適地調査を行い、複数の候補地を選定しました。
自己評価	現在の分譲率の状況等から時期を逸することなく適地候補地の選定ができました。今後の企業誘致の弾みとなります。

事業名	6次産業化（射水サクラマス市場化）事業の推進
目 標	射水サクラマスの生産体制を構築するため、成魚育成の取組を行います。また、サクラマスの付加価値を高めるため、広報戦略の策定、加工品の開発、食育・環境教育への貢献等に努めます。 射水サクラマス市場化事業を通じ、本市の地域振興・地方創生を図ります。
年度末達成状況	サクラマスの養殖を確立するため、専門機関の技術指導を受けるなど取組の強化に努めました。また、大都市圏でのイベント参加等による広報を積極的に行うとともに、試食会等を通して県内でのブランド力向上にも取組ました。
自己評価	イベント、試食会でのサクラマスの評価は、予想以上に高い結果となっています。平成29年度に予定している初めての試験出荷には、大きな期待ができます。

事業名	射水ベイエリアの賑わい創出
目 標	世界で最も美しい湾クラブ加盟の「富山湾」、恋人の聖地の「海王丸パーク」、映画等のロケ地となった「内川」は、訪れる観光客が増加しています。この射水ベイエリアの魅力を一層向上させるとともに市内への回遊性を促進し、射水ファンの獲得に努めます。
年度末達成状況	射水ベイエリアの回遊性を促進するため、試験的に周遊バスを運行しました。また、映画上映後の新湊曳山まつりでは、市民、関係団体との連携により、観光客へのおもてなしに力を注ぐとともに、市の魅力発信にも努めました。
自己評価	周遊バスの試験運行は、期待していたほどの利用者はありませんでした。しかし、観光振興にとって周遊バスの必要性は明らかことから、運行方法や周知方法等を見直し、再度実証運行を行うことが必要と考えています。

